

TAKE
FREE
保存版

幸区のまちの人々をつなぐ



Vol.10 2025.3発行



CONTENTS

- 対談 幸区のひと [P.2] 幸区まちかどインタビュー [P.3]
マップでつながる幸区 [P.4~7] さいわいソーシャルデザインセンター [P.8~9]
幸区の昔と今 ~加瀬山と小向梅林の歴史をたどる~ [P.10]
7つのまちがい探しと編集後記 [P.11] コドコ?・バックナンバー [P.12]



ぐっさん工房

やまぐち としえ
山口利江
さん



代表理事

いその ゆうこ
磯野祐子
さん



楽しくて続けていけるから、 つながりは 減ることがないんです！



ぐっさんこと山口さんは、南加瀬に工房を開いているDIYアドバイザー。
磯野さんは、北加瀬で訪問看護を開業して8年目を迎える看護師さん。
このおふたりがどのように地域とのつながりを育んできたのか、
対談スタイルでお話をうかがってきました。



まずは、おふたりの活動のきっかけを教えてください。

山口さん

私は子どもの頃からもの作りが趣味で、子育てが落ち着いたのを機にDIY工作教室に通い始めました。ところが教室の講師が結婚するので後は頼むと言われ、教える側に。教室のかたわら工房「ぐっさん工房」を2014年に立ち上げました。

磯野さん

東京勤めで地元を知らなくて。町内会の運動会が楽しそうでお声かけしたのが地域デビューでした。訪問看護は2017年8月に起業し、2021年にフォトスタジオBÉBÉさんがきっかけで夏祭りに出店して、ぐっさんと出会いました。

とても活動的なおふたりですが、ご苦労や、やりがいは何でしょうか。

製作の依頼には、どう作ってほしいのかをしっかりとかがいます。木は生き物ですからご要望はお茶などしながらじっくりお聞きいたします。そこから新しく紹介をいただくことも。

無理はせず、仕事・生活圏2.5kmの動線の中で用事に合わせ訪問しながら「あのおじいちゃん元気かな。あの子にまた会いたいな。」と思い楽しく続けてます。

やはり、ひととのつながりが大切なんですね。

私、大阪出身なんですよ。「あがるでえ」と言って、隣のおばちゃんの家でお茶飲んでると比べたら、つながりが薄いなと感じました。なので友達を作るため近所の亀公園に毎朝通ってました。おかげでママ友もできましたね。

北加瀬の人は、地域や人を大切にしている、そこに私もいられる居心地の良さを感じています。次の世代につなげていきたいというシニアのみなさんが頑張っているんです。人だけではなく、歴史や思いもつなげていきたいですね。

これからは、どんなつながりを目指していきたいですか。

つながりは減ることがないんです。ひとりなので広げすぎないようにしないと手におえません。仕事はとても楽しい。荷物運びは重労働だけど、みんなに喜んでもらうのがとてもうれしいので、もう少し続けていきたいです。

今のままでいいのかな。利用者さんに地域の声や情報を届ける看護の中でつながりができていく。仕事とは別に自分が地域の中で自由にいられるのがいいんです。店員さんとお客さんが顔見知り、日吉小の子どもとも挨拶し合う。そういうのがいいんです。

このあとも楽しいお話は延々と続きました。



おだんごヘアに鉛筆を刺しています



人気のDIYカメラ

今回は地元愛あふれる対談となり、とても楽しいひと時となりました。おふたり、ありがとうございました。

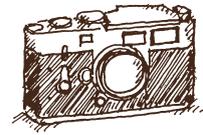


キャラクターまるごとちゃんのクッキー



アクリルスタンドもあります

「幸せだなあ」と感じるとき



獣医の資格もお持ちの小倉園長。動物を通じて命の大切さを伝えたり、新設のパークセンターの有効活用を日々考察されています。(夢見ヶ崎動物公園園長小倉充子さん)



偶数月に1回、地域の高齢男性が手料理を振る舞う。食べる方も作る方もドキドキハラハラ?!原町公会堂・山崎会館にて。(ハラハラ亭 店長 鶴岡洋久さん)



風が好き 色が好き 絵を描くのも好きでタウンカフェさんでも「ほんのひととき」小箱オーナーさせていただきました。(にじいろ風工房♪ さつきさん)



当時のフルート音楽は宮廷のものでしたが、その音色は現代の私達の心の奥まで響きます。土地や言葉も越えてつながれる音楽をたくさんの人に届けたいです。(フルート、フラウト・トラヴェルソ奏者 青木陽香さん)



地元で採れた野菜の販売を通して、笑顔があふれる場所を作りたいという思いを込め「地産地消」をコンセプトにしている農家さん。直売所は基本火・土14:00～。(しんぼりファーム 新堀智史さん)



ダンスなど身体を動かすことで、心のバランスもとれている気がします!タウンカフェさんの本の交流会で出会ったお友達とお話するのも大好きです!(ダンス講師・振付師・占いエンターテイナー 太田涼子さん)



地元小学生との交流イベントを開催するなど、地域でのつながりを大切に、長く愛され続けている本屋さんです。(北野書店 店長 小林麻美さん)



消防団活動をしている会社員。家族そして地域のみなさんの「ただいまとお帰り～!」の愛(合)言葉を守れたらをモットーに活動しています。(幸消防団第3分団 遠山直樹さん)

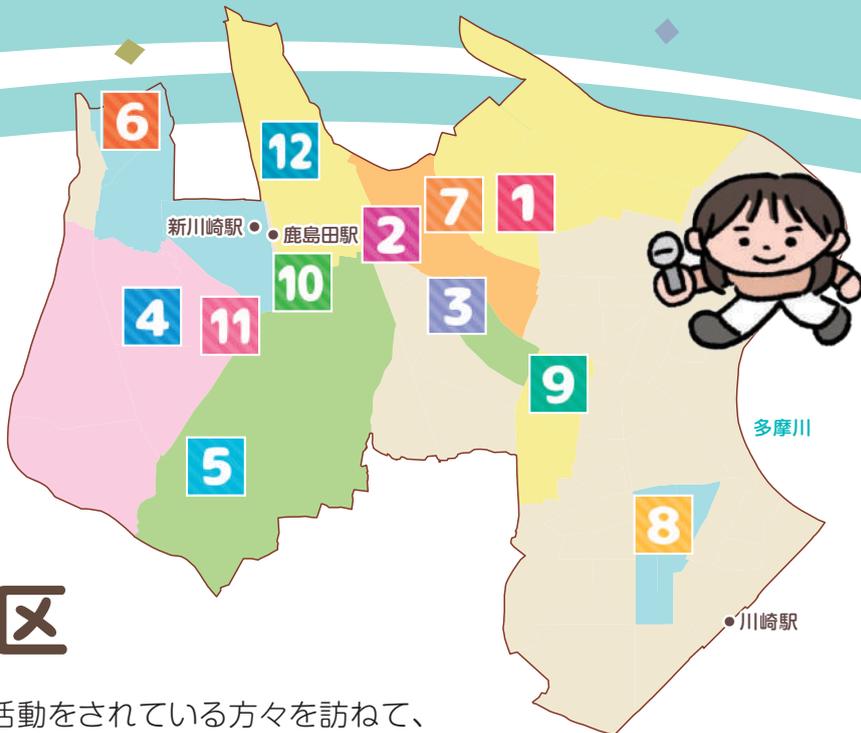


月一回の子ども食堂で子供たちが食べ残しがなくおいしかった笑顔が見れたとき。(養老乃瀧 鹿島田店 店長 まっちゃん)

Follow me! /



マップで つながる幸区



今回は、さまざまな分野で活動をされている方々を訪ねて、
つながりが深まるたくさんの活動についてうかがうことができました。

開いている曜日が決まっていたり、予約が必要な場合がございます。
ぜひ事前にご確認ください。

1

1950年 スタート

片山本店

創業75年の町の酒屋は、1階が自然派食品の専門店に、2階がくつろげるカフェに、そして3階は人が集まれる場に生まれ変わりました。保育園児のママたちの井戸端会議や音楽イベント開催に向け、地域の皆さまのマンパワーを募集中です。



専務取締役 片山禅基さん
幸区古市場1-34
TEL : 044-522-6233
予約不要



Instagram

2

1985年 スタート

下平間 子ども文化センター

子ども文化センターは区内に6箇所あり、毎日元気な子どもたちでにぎやかです。「ポッチャ交流会」など地域の方が参加できるイベントも実施。サークル活動等でも、施設利用できるので、子どもからシニアまでのつながりに期待ができそうです。



館長 永岡ひとみさん
幸区下平間70-1
TEL : 044-544-2925
予約不要



ホームページ

人と人

つながるいとを

紡ぐひと

3

2001年 スタート

オリーブ母子相談室

産後ケアや母乳ケア、育児相談などで1か月に約100名のお母さんと出会う「オリーブ母子相談室」の柳澤先生。「孤立を無くすためママたち同士を繋げ、継続支援が必要な方は区の保健師さんに繋げ、私は寄り添い一緒に伴走したい。」と笑顔で話をしてくれました。



院長 柳澤裕美さん
幸区古川町102TMビル204
TEL : 044-276-9603
要予約



ホームページ

4

2007年 スタート

小倉の駅舎 陽だまり

どなたでも気軽に立ち寄れる、「陽だまり」。有山さんが、優しい笑顔で迎えてくれます。地域の憩いの場として、おしゃべりしたり、手芸や、スマホ講座なども随時開催しています。ほっと一息休憩がてら、立ち寄ってみませんか。



管理者 有山節子さん
幸区小倉2-26-22
TEL : 044-201-7560
要予約



ホームページ

5

2017年 スタート

ひよし食堂 まちのテーブル

毎月第3水曜に手作り弁当とフードパントリー、楽しいプログラムでまちの心とお腹を満たしてくれます。人だけでなく食材もまちのつながりで集まるあたたかな場所です。幅広い年齢が集まり、思いがけないつながりに出会えるかもしれません♪



代表者 庄司佳子さん
南加瀬中央町内会館
幸区南加瀬2-24-10
TEL : 080-5037-3119
要予約

※手作り弁当は
事前予約30食
(1食200円)



フェイスブック



6

2020年 スタート

ベベ
フォトスタジオBÉBÉ

親子の自然な愛情をとらえ形にして残すことを大切にしている青山さん。彼女の魅力に惹かれてスタジオ開放日やイベントにもたくさんの親子が集まります。ママたちを助きたいという温かい思いが、明るい場を作っています。



店主 青山はるかさん
幸区北加瀬3-23-7
要予約



ホームページ

7

2021年 スタート

さちもりハウス
幸盛HOUSE

だれでも安心して過ごせる、誰かとつないでくれる温かい居場所。親子で行けばママがホッと一息つける、しょんぼりした日はここに来たらほっこりできる。「集まった人はみんなつなげます」という倉林さんが大きなハートで受け入れてくれます。



NPO法人幸区盛り上げ隊
代表 倉林ともみさん
幸区下平間48
TEL : 044-276-6526

イベントに
よっては
要予約



ホームページ

8

2022年 スタート

ココで話そう
ことばすけっと

多世代の居場所「メロディーココ」で互いの言葉を聞き合う対話の場を開いています。「私もあなたもつらさが少ない社会」を一緒に考える場をめざし主に毎月第4土曜に開催。2025年からは「シェア本棚」を開始予定。本を通じた「共有地」づくりへ奮闘中です。



ことばすけっと代表
佐々木素眸さん
幸区中幸町4-21
エステート鳥養1階
予約不要
kotoba.sk12
@gmail.com



ホームページ

9

2022年 スタート

イドバタ スペース
IDOBATA SPACE
アイデアで幸区をもっと面白く

区長のひとことから始まった市民館空きスペースの活用は、例年2,000人を超える交流を生み出しました。顔の見えるつながりは防災の共助にもつながると、岳(がく)さんは期待し活動に邁進しています。誰でも使える場です。お気軽にお問合せください。



幸市民館コミュニティ
推進事業実行委員長
齊藤岳至さん
幸区戸手本町1-11-2
幸市民館
TEL : 044-541-3910
イベント時予約不要

まちと人 あすにつながる まちのいと

10 2023年 スタート

しえあスペース アンソレイエ

地域で助け合える、ふらっと寄れる場所が必要と、つながりを大切に運営しています。ここでは、気軽集えるイベントを実施。子どもたちに人気の優しさ溢れる竹内さん。「ただいまぁ」と店前を通っていく風景は、どこか懐かしいあたたかさを感じます。



オーナー 竹内尚美さん
幸区鹿島田1-11-2
要予約



Instagram

11 2024年 スタート

夢見ヶ崎動物公園 パークセンター多目的室

日常生活の延長上にある動物園として、パークセンター多目的スペースを市民に開放。命の大切さを考え、そこから生まれる交流を広げていきたいという、動物を見る場としてだけではないこれからの展開が楽しみです。



園長 小倉充子さん
幸区南加瀬1-2-1
TEL : 044-588-4030
(動物公園住所)

多目的室は
要予約



エックス

12 2024年 スタート

ウォームス スペース Warmth Space

サードプレイスとして経験を共有しながら子育て支援や相談会、ワークショップを通じて人との繋がりを提供できる場を運営。「子育ては大変!その中でママが安心して過ごせる場所になるといい」と熱心に話してくれた島津さんの笑顔が印象的でした。



代表 島津悠香さん
幸区鹿島田2-20-53
山崎ビル202
要予約



Instagram



まちのおと さいわいソーシャルデザインセンター

「まちのおと」は新川崎タウンカフェの一角にあり、地域交流の促進や地域課題の解決に向けて支援する場です。

まちのおと

地域交流会

(まちのおと・つながりCafe)

2024年度は「防災」をテーマに全3回の開催。
新しい出会いや発見がたくさんありました。



各回のレポートは
ポータルサイトのレポートから
ご覧いただけます。



●第1回

つながる！防災ボードゲーム
オリジナルのボードゲームで交流しながら防災について楽しく学びました。



●第2回

防災 × 哲学カフェ
災害時に「本当に必要なものは何か」を話題に、じっくり語り合いました。



●第3回

防災 × まちあるき
防災の視点を教わりながらまちあるき。いつもの景色も新鮮に見えました。

OPEN CAFÉ DAY



子どもからシニアまで参加可能なフラダンス交流会♪



講座や勉強会などでも利用できます。



親子それぞれの過ごし方を同じ空間で。

あなたの「やってみたい」を叶える「OPEN CAFÉ DAY」。
新川崎タウンカフェの場所を使ってイベントを開催してみよう！
面白そうなイベントがあったら参加してみよう！

ハロウィンかかし

-鹿島田交通広場-



地域の方と協力し、毎年オリジナルのかかしを出展しています。
今年は夢見ヶ崎動物公園50周年のお祝いデザイン！

活動しても、
参加しても

地域との連携

意見交換会「まちのおとを語りつくせ!」



『まちのおと×自分(身近な団体・個人)ができる可能性』をテーマに意見交換をしました。
関心ある分野でグループに分かれ、最後はみんなで共有。素敵なアイデアがたくさん集まりました!

まちづくり応援フォーラム



地域で活動する団体をお招きして、成果や課題を共有していただきました。地域を楽しく元気にするため活動する皆さんの発表に、応援をするつもりが逆に応援してもらったような気持ちに。

「まちのおと」でできること

知る

幸区のことをWebやSNSで発信。情報コーナーにはチラシがたくさん!

学ぶ

幸区を学ぶ機会を設けます。どなたでもご参加可能!

相談する

地域活動や団体の立ち上げ、相談アドバイスについてサポートします!

つながる

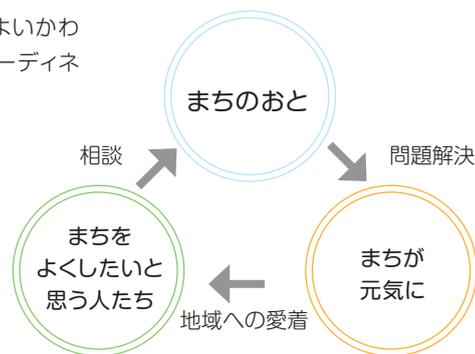
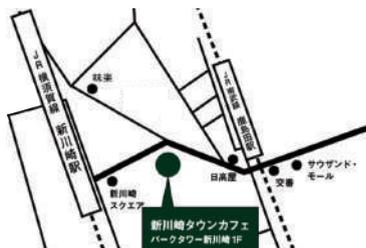
交流会などの様々な機会を設けて地域活動に関わる方をつなぎます。

話し合う

「困った」や「やってみたい」を意見交換し、より良いまちづくりへ。

地域活動のこと…それは、だれかのチェンジ そして、だれにもチャンス

地域活動に参加してみたい、活動の始め方がわからないなど、どこに聞いてよいかわからない方に活動の紹介やアドバイスをする相談窓口があります。私たちコーディネーターは、行政や地域団体との連携など、地域活動の応援をしています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



お問い合わせ

川崎市幸区鹿島田1-1-5パークタワー新川崎102
(新川崎タウンカフェ内)
TEL : 044-555-0233 (日曜・月曜定休)
メール : info@saiwai-sdc.net

お問い合わせ
フォームは
こちら



まちのおと
公式サイトは
こちら



いしすえ

加瀬山は幸区の礎？

夢見ヶ崎動物公園のある加瀬山は、縄文時代、海に浮かぶ島として、人々の暮らしがありました。古墳時代には、南関東最大級の規模を誇る加瀬白山古墳が築かれ、さらに周辺には加瀬台古墳群が形成されました。

1937年（昭和12年）に西端に位置するこの白山古墳から三角縁神獣鏡が出土しました。この三角縁神獣鏡は、初期の大和政権から各地に分け与えられたと考えられる青銅製の鏡で、いうなれば幸区は大和政権と関係性があったと言えるとても古い歴史を持つ土地柄です。

さらに、1942年（昭和17年）にはその周辺から秋草文壺が発見され、加瀬山が再び注目されました。この秋草文壺は、平安時代の高度な技術と美意識を示す代表的な陶器で、秋草の繊細な文様が描かれ、文化的価値が高く、日本で最初に陶磁器分野で国宝第一号に指定されたのです。幸区で発見された秋草文壺、その歴史的・芸術的な意義は、日本の文化財保護の重要性を広く認識させる契機となりました。

1970年（昭和45年）の墳丘調査では、5世紀から8世紀の円墳が9基確認され、古墳の多い場所として広く知られています。

大正時代以降、この丘は川崎駅西口（現在のラゾーナ周辺）や住宅地の盛り土としてたびたび削られ、南加瀬貝塚や白山古墳など消滅してしまった遺跡も少なくありません。

現在では、高層マンションや商業施設が立ち並ぶ幸区ですが、その土台には加瀬山の土が使われ、加瀬山は幸区の礎になっているのかもしれないね。



ゆらい

梅は幸区の由来？

江戸時代、幸区の北東に位置する今の小向一帯にあった梅林は小向梅林と呼ばれ、歴史的な梅の名所でした。明治天皇が1884年（明治17年）に観梅のためにこの地域を訪れ、その行幸にちなんで「御幸」という地名になったのが現在の幸区の由来です。

小向梅林があった場所は、多摩川の氾濫などで梅

の木は失われてしまいましたが、御幸公園の一部として梅林が復活されて、現在29品種、約230本の梅の木が植えられています。

見頃の時期には、美しい梅の花が園内を彩り、観梅会も行われ、多くの人々が訪れる小向梅林の梅は、江戸庶民の食卓にものぼった由緒ある梅なのです。地域の魅力を高めるための貴重な歴史ですね。





7つちがうとこがあります。さがしてみてね！ こたえは裏表紙に！



■ 青山はるか (フォトスタジオBÉBÉ)

つながりには多面性がありますが、どれも人生にとって大切な意味を持つてはす！ そう思える1冊になりました。

■ 伊藤公一

まちを織りなす糸たちは、それぞれ異なる色や形を持っています。集まることで一枚の布となり、溶け合う色彩で美しいまちのいとなりました。

■ 今井康裕

今回もたくさんの方と出会いつながることが出来ました。「まちのいと」を通してたくさんの方々が更につながっていけると嬉しいです。

■ 梅津ミスズ (グラフィックデザイナー)

祝10号！前号に引き続き、担当できて嬉しいです。地域、事務局、ボランティアの皆さんの想いが、繋がっていきますように♪

■ 木戸真理子

いつも取材を通して様々な方とお話できるのが、とても楽しいです！ぜひ手に取り、私達が取材した場所を訪れてみてください。

■ 倉林ともみ (NPO法人幸区盛り上げ隊)

今までもこれからもご縁を大切に。みんなが繋がって笑顔溢れる街、幸区にしていくお手伝いをしていきます。

■ 小泉理々子

幸区のあたたかなつながりを手に取れる1冊になったと思います♪ これからも様々なつながりが広がりますように。

■ 清水菜々子

毎号違った色の繋がりの糸が紡がれることに驚いています。いろんな世代の方にぜひ読んでいただきたいです！

■ 鈴木いより

インタビューやイラストを通じて、皆さまや歴史について知ることができて楽しかったです！幸区がさらに好きになりました。

■ 竹内尚美 (アンテナショップ青空)

編集や取材で、新しいつながりと発見に出会い「このまち、なんかすごくいいなあ」と改めて感じる時間でした。

■ 中村純子

自分でできる事は、応援する事。今までもこれからもコツコツとゆっくり繋がる応援が私にできる事。みんなの笑顔を繋ぎたいです。

■ 間橋友子

人と街を繋いで紡ぐまちのいと。読んだ人もこれから読む人も繋いでいきます。手に取ってくれたら嬉しいです。

■ 水田理紗

お話を聞かせていただけて、心に灯がともりました。幸区のこと、もっと知りたいです ^ ^

■ 森部隆 (ファイナンシャルプランナー)

(声に出して読んでほしい) Corn kite more oak no shoe the it neat talk monday mile master. Nets eat it π know on her now she GATT key K chat ten to ten more you cutter desk.

■ 岩川・菅原 (事務局)

来ていいよ、いていいよ、と言ってくれる場所や人がたくさん存在してくださっていることがひたすら嬉しいです！幸！

五十音順です

ココドコ?

久しぶりに
ワーブしようかな?

● 撮影・文 / 岩川舞



まちないと情報誌

本誌は、さいわいソーシャルデザインセンター事業として、
市民ボランティアの皆さんと企画、編集、取材をして発行しています。

発行日：2025年3月 発行：株式会社イータウン 発行責任者：齋藤保
川崎市幸区鹿島田1-1-5 パークタワー新川崎102 新川崎タウンカフェ内
TEL/FAX：044-555-0233 メール：info@saiwai-sdc.net



まちがい探しのこたえ

ルバーイ子点① 0年212C特7Yの1号② 遊星の1C4K66③ 2星の1C6K66④ 2星の211日Yの1号⑤ 星のYの1号⑥ 母の首遊の1C6⑦